開催概要　ツーリズムEXPOジャパン2024

ツーリズム・プロフェッショナル・セミナー　スケジュール

日	会場	10時	11時	12時	13時	14時	15時	16時	17時	18時
9月26日（木）	東展示棟1F東5	【日本航空登壇】企業における業務効率化／BPRの新しい姿とは？ 10:30-12:00		観光事業者の顧客送迎は白ナンバーで可能か？「自家用有償旅客運送」の最新制度や、同制度下におけるビジネス上のポイントについて弁護士が解説　12:30-14:00		るるぶが皆様の広報を変える！そして、お客様を誘致する！　～新生ソリューション『るるぶ+（プラス）カード』&『食マーケティング』～ 14:30-16:00		地域と旅の新たな関係、地域への愛着と強いブランドを生み出す「第2のふるさと」とは？ 16:30-18:00		
	東展示棟1F東6	標準旅行業約款における取消料規定及び個別認可約款の活用について 10:30-12:00		観光予報プラットフォーム構想から10年～データ活用者たちのプラットフォームへの要望と期待～　12:30-14:00		地質学の視点からみた酒蔵ツーリズムについて 14:30-16:00		今後の旅行会社の人材育成 16:30-18:00		
	東展示棟2F東1(2)			【学生・教職員専用】人財を惹きつける魅力ある旅行業にむけて 12:30-14:00		ツアーグランプリ受賞者から学ぶ、新しい旅行商品のカタチとは？ 14:30-16:00		日本におけるサステナブルツーリズムの推進 16:30-18:00		
	特別コーナーステージ	淑徳大学 経営学部 観光経営学科の実践型教育、インターンシップの取り組み 11:50-12:10		研究発表「私たちが考える成田空港の未来」 13:30-13:50		地域のストーリーを巡るサイクリングガイドツアー sokoiko!のご紹介 14:10-14:30				
9月27日（金）	東展示棟1F東5	インバウンド最前線！インバウンド高付加価値への挑戦！！～地方誘客と高付加価値化の促進に向けて～ 10:30-12:00		観光事業者の顧客送迎は白ナンバーで可能か？「自家用有償旅客運送」の最新制度や、同制度下におけるビジネス上のポイントについて弁護士が解説　12:30-14:00		日本遺産ツーリズムセミナー ～「日本遺産 御周印」と各地の取組事例～ 14:30-16:00		日米観光交流年シンポジウム：日本からの渡航需要の回復を早期に達成すべく実施している施策および今後のプランについて 16:30-18:00		
	東展示棟1F東6	歴史写真家バシャール・タッパとヨルダンの遺産を写真で探る 10:30-12:00		観光の未来を読み解く、Z世代の旅行スタイルとデジタルマーケティング 12:30-14:00		各地域の酒蔵ツーリズムの取り組み 14:30-16:00				
	東展示棟2F東1(2)	ブルネイ代理店と日本代理店の交流会 10:30-12:00		世界のAT先進地域と日本のAT地域としての可能性 12:30-14:00		【主催者招待制】「脱FAX！日本旅行業界のガラパゴス化を徹底討論 - DXへの道は険しいのか！？」　14:30-16:00		【主催者招待制】「脱FAX！日本旅行業界のガラパゴス化を徹底討論 - DXへの道は険しいのか！？」　16:30-18:00		
	東展示棟2F東1(3)	空飛ぶクルマの実装化に向けて～みんなでつくろう！新しい空の世界～ 10:30-12:00		エリア間を繋ぐ観光型MaaSサービスの現状と未来 12:30-14:00		【パネルディスカッション】ネイチャーポジティブ実現に向けた 新たな保全区域、環境省認定自然共生サイト」の観光活用について考える 14:30-16:00		“あなたも行ける！”宇宙旅行最前線 16:30-18:00		
	Aステージ	日本遺産オフィシャルパートナーシッププログラム　締結式 10:30-12:00			TOUCH! the future ステージ「日本の未来を担うツーリズムのチカラ」／観光産業の魅力-ふたつの視点から見るツーリズムの姿-／観光産業の未来-これからの観光産業の可能性を探る-　13:20-15:30			国際クルーズの市場拡大に向けて　～日本発着からフライ&クルーズまで～ 16:30-18:00		
	特別コーナーステージ	2024年度産学官連携プロジェクトについて～埼玉ゴールデンルートのPRイベントと秩父地域アンバサダーとしての新みそポテト開発～　11:10-11:30		サステナブルな観光地域マネジメントとは　13:30-13:50		MSCグループの新ラグジュアリー客船、エクスプローラ ジャーニーの全て　14:10-14:30	長崎検番～江戸時代中期から続く長崎花柳界の伝統～ 14:50-15:10	サステナブルな旅行の行動ヒントについて 15:30-15:50		

ジャパン・ツーリズム・アワード

「国土交通大臣賞」に愛知県

「経済産業大臣賞」にはナビタイムジャパン

日本観光振興協会、日本旅行業協会（JATA）、日本政府観光局（JNTO）は、ツーリズムの発展・拡大に貢献した国内・海外の団体、組織、企業、個人の持続可能で優れた取り組みを表彰する「第8回ジャパン・ツーリズム・アワード」の各賞を決定した。今回のアワードの応募件数は119件（国内・訪日領域105件、海外領域14件）。「国土交通大臣賞」には愛知県が、「経済産業大臣賞」にはナビタイムジャパンが選出。「観光庁長官賞」は、国内・訪日領域から1団体が入選した。表彰式は開会式に続いて行われる。

昨年の授賞式の様子

「国土交通大臣賞」を受賞した愛知県（国内・訪日領域）の「愛知県『休み方改革』プロジェクト」は、観光需要の平準化を進める上で、県が主導して休暇改革を打ち出した点が高く評価された。他の都道府県でも同様の施策を始めている中、愛知県はその先駆者として、「学ぶ＋休暇＝ラーケーション」という概念を創出。経済界・労働界・教育界が一体となって改革に取り組んでいる点が観光業界から期待されている。

「経済産業大臣賞」を受賞したナビタイムジャパン（国内・訪日領域）の「訪日外国人向け観光ナビゲーションサービス『Japan Travel by NAVITIME』（インバウンド）」は、日本特有の交通事情を考慮した情報や、旅のすべての要素をシームレスにつなぐサービス。旅行プランのみならず、データも取得でき、広域観光にも大きく寄与している点が注目された。2013年からサービスを提供し、チケット予約で13言語に対応するなどアップデートを重ね、一つのアプリで完結すること、データ活用によりさらなる展開可能性が期待できる点も高く評価された。

これらに加え、「観光庁長官賞」は、国内・訪日領域から2団体、海外領域から1団体が入選。

国内・訪日領域は、越前市観光協会の「伝統産業の未来を切り拓く　産地事業者と協働した『トップ層』誘客への挑戦」と、扉ホールディングスの「古民家再生で持続可能な観光地域づくりへ！地域共創ウェルネスツーリズム」が受賞した。

海外領域は、カタルーニャ観光局の「National Commitment to Responsible Tourism／責任ある観光へのカタルーニャ州の取り組み」が受賞。

また、「実行委員長特別賞」には、Saudi Red Sea Authority（海外領域）の「Environmental Protection of Coastal Tourism」が、「UNTourism特別賞」には、南三陸町観光協会（国内・訪日領域）の「未来を育む学びのツーリズム事業」と、沖縄観光コンベンションビューロー（国内・訪日領域）の「エシカルトラベルオ

テーマ別シンポジウム（27日）

●国内旅行シンポジウム（10時30分～12時00分）

主催は日本観光振興協会で、テーマは「地域の観光DX戦略を考える～観光振興による地域社会の持続・発展に向けて～」。観光デジタル人材の育成や費用など、取り組むべき課題が明確になりつつある中、さらなる観光地経営の高度化、生産性向上を後押しすべく、先進事例を交えて本格的な観光DXに向けた今後の展開について考える。

基調講演「観光DMPを意味のあるツールにしていくために必要なことは何か?」では、東京都立大学都市環境学部観光科学科教授・金沢大学先端観光科学研究所特任教授（クロスアポイントメントの清水哲夫氏が登壇。

パネルディスカッションでは、ファシリテーターをトラベルボイス代表取締役社長の鶴本浩司氏が務める。パネリストには、観光庁参事官（産業競争力強化）付専門官の秋元純一氏（予定）、ニセコエリアスマートリゾート推進コンソーシアム倶知安町観光商工課主幹の沼田尚也氏、オープントーン取締役の畑中貴之氏、日本観光振興協会観光地域づくり・人材育成部門観光地域マネジメント部長の大須賀信氏が登壇する。

●海外旅行シンポジウム（13時00分～14時30分）

日本旅行業協会（JATA）主催で、テーマは「日米観光交流年2024『アメリカ旅行企画コンテスト』」。コロナ禍で落ち込んだ日米間の相互観光往来の回復拡大を目的に、両国政府間で「日米観光交流年2024」が締結された。これを機に、JATAでは若者の海外旅行需要喚起策の一環として学生からアイデアを募集し、「アメリカ旅行企画コンテスト」を実施する。今年は日米の海外渡航自由化60周年を迎えることもあり、日米観光交流年と合わせて二つの節目となる2024年にふさわしい海外旅行シンポジウムとして開催する。

審査員は、ブランドUSA日本事務所旅行業界担当ディレクターの高久渉氏、ビジットUSAコミッティジャパン会長の田中映子氏、ANA営業センターセンター長代理兼ANAあきんど常務取締役の柏木寿州氏、東洋大学国際観光学部客員教授の越智良典氏、航空新聞社ウイングトラベル編集部編集統括の石原義郎氏、日本旅行業協会海外旅行推進部部長の稲田正彦氏の6氏。

●観光庁シンポジウム（15時30分～17時00分）

主催は観光庁、日本観光振興協会、「世界文化遺産」地域連携会議。テーマは「第11回世界遺産サミット　in　EXPO」。同サミットでは、世界遺産が所在する自治体の首長が集まり、世界遺産の保全や観光面での活用について、各地からの報告・意見交換等を行う。今回はさまざまな業界関係者も集まるエキスポでの開催となる。登壇者は、日光市長の粉川昭一氏、吉野町長の中井章太氏、富士吉田市長の堀内茂氏。司会は、神奈川大学国際日本学部教授の島川崇氏が務める。

VISIT JAPANトラベル&MICEマート

海外バイヤー280社 6000件超の商談見込む

日本政府観光局（JNTO）は、日本最大のインバウンド商談会「VISIT JAPANトラベル&MICEマート2024」を26～28日に東京ビッグサイトで開催する。ツーリズムEXPOジャパンとの合同開催。訪日旅行を取り扱う海外旅行会社などと、国内の観光事業者やDMOなどが商談を繰り広げる。

海外旅行会社などの海外バイヤーは、35カ国・地域から約280社が参加する予定。国内セラー側は、宿泊施設や観光施設、運輸・交通事業者、DMO、自治体など約300社・団体が参加する。商談は原則、セラーがバイヤーブースを訪れる方式で事前マッチング制。合計で6千を超える商談が予定されている。

また、海外バイヤー向けのファムトリップが実施される。9月28日から2泊3日または3泊4日で計12コースを設定。アドベンチャートラベル、ワインツーリズム、ウェルネス、アイヌ文化、大阪・関西万博などをテーマに、東日本を中心として各地の多彩な観光資源を紹介する。

昨年開催の様子

海外バイヤー向けファムトリップ

東日本中心に12コース、万博関連も

◆3泊4日コース（9コース）

【知床コース】
世界自然遺産知床と東北海道の魅力に迫る～ネイチャーとアイヌ文化を知る旅～

【札幌・ニセコ・小樽コース】
北海道の自然と味覚を楽しむ～農業体験と酒蔵ツーリズム～

【青森・秋田コース】
青森の祭り、アート、自然を通し地域の人々の暮らしを体感する旅！農家民泊と郷土料理も体験！

【岩手・宮城コース】
地元ソムリエ兼観光大使がご案内する岩手・宮城のワインツーリズム

【山形・福島コース】
東北の歴史と郷土食を楽しむ山形・福島巡り

【新潟コース】
体と心を健康にする新潟巡り～モノづくりの町・燕三条と大地の芸術祭「越後妻有アートトリエンナーレ」

【長野コース】
諏訪湖と日本一の星空体験、美しい自然体験の旅

【金沢・軽井沢コース＝MICE向け】
金沢・伝統から軽井沢・大自然までさまざまなアトラクション視察

【関西コース＝MICE向け】
西日本で大阪・関西万博のテーマである「いのち」を体感する

◆2泊3日コース（3コース）

【栃木・茨城コース】
歴史を感じる旅～茨城ナイトタイムエコノミーと世界遺産日光東照宮～

【群馬・東京コース】
群馬・水上でラフティングと谷川岳トレッキングを楽しむアドベンチャートラベル

【東京・千葉コース】
東京の最新アートコンテンツをチェック。東京近郊の千葉で鋸山トレッキングと自然体験